



慶應義塾大学ビジネス・スクール

山村食器株式会社

5

山村食器株式会社（以下、「山村食器」）は、東急東横線綱島駅徒歩10分のところにある業務用食器の卸である。お店の歴史は浅いが、和食器、洋食器等豊富な品ぞろえを武器に、地元レストラン、老舗旅館等に対して売上をのばしている。

10

問題 山村食器の平成22年3月期（平成21年4月1日より平成22年3月31日まで）に生じた以下の期中取引を仕訳して、総勘定元帳に転記しなさい。（日付と小書きは省略する。）次に、決算整理前合計残高試算表を作成してから、未処理事項の処理と決算整理を行って、帳簿を締め切り、繰越試算表を作成しなさい。さらに、繰越試算表と損益勘定にもとづいて、貸借対照表と損益計算書を作成しなさい。

15

- 注意事項
1. 金額の単位は便宜的に小さくしてある。
 2. 円未満の端数は切り捨てること。
 3. 仕訳に使用する勘定科目は次の通りとする。

20

現金	当座預金	受取手形	売掛金	貸倒引当金
繰越商品	前払金	前払保険料	手形貸付金	未収金
仮払金	現金過不足	建物	車両運搬具	備品
減価償却累計額	支払手形	買掛金	借入金	未払利息
未払金	未払法人税等	前受金	仮受金	預り金
資本金	繰越利益剰余金	売上	受取利息	雑益
貸倒引当金戻入	固定資産売却益	仕入	給料	貸倒引当金繰入
減価償却費	発送費	燃料費	旅費	賃借料
支払保険料	支払利息	手形売却損	雑損	固定資産売却損
法人税等	損益			

25

本ケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール准教授 村上裕太郎が複式簿記の演習問題として作成した。ケース中の企業は架空のものである。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 村上裕太郎（2010年5月作成）